



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴鳥イ言

物事の本質を見抜く

数学科 中尾 健太

大きな決定をするときや、悩んだときの行動原理として大切にしていることとして「ゴールデンサークル理論」という言葉がある。マーケティングコンサルタントであるサイモン・シネック氏が、2009年に「TED Talks」でプレゼンした、物事を「Why(なぜ)」「How(どうやって)」「What(何が)」の順で語り、「何をやるのか」よりも「なぜやるのか」を優先して伝えることが聞き手の共感を生み、行動変容を促すという理論である。一般的なプレゼンでは、「我々は、素晴らしいコンピュータをつくっています。(What) 美しいデザイン、シンプルな操作法、取り扱っても簡単。(How) 一台いかがですか?」などと、つい自社製品の魅力を伝えるのに夢中になってしまふ。しかし、例えばあの有名なAppleでは、「世界の現状を変えることに挑戦し、他の人とは異なる考え方をすることが私たちの信条です。(Why) 美しいデザイン・シンプルな操作性・取り扱いの簡便さという観点で製品開発に努め、現状に挑戦し続けています。(How) その結果、素晴らしいスマートフォンが誕生しました。(What) 一台、使ってみてはいかがでしょうか。」といったように、「Why」を先に伝えることにより、人の感性や感情に訴え行動を促している。この考え方は、今ではマーケティングや企業理念を踏まえた経営等で幅広く活用されているため、一度は耳にしたことがある人も多いことだろう。

選択においても、どの職業や大学を目指すかよりも、何を学び仕事に就いた後どのような社会問題を解決したいかの「志」を大切にすることが後悔のない選択に繋がると生徒には話をしている。数学においても、つい単なる解き方(How)だけを身につけようとする生徒が多いが、解き方よりも、何故そのような解法で解こうと考えたのか(Why)を追究することで、一問を通してその問題の裏にある数学的な本質を身につけることができる。本年度私は、生徒会の担当となり、現在社会問題ともなっている「校則の見直し」について深く考えることが多い。本校も、生徒会を中心に昨年から引き続きいくつかの校則の見直しを検討しているが、これらの校則はあくまで学校の外枠の部分でしかない。ある先輩からの「校則を見直すときには、社会の流れや他校がこうだからではなく、鶴丸がどのような学校でありたいか」を考えて欲しい。という言葉が耳から離れない。この言葉こそまさに「Why」の追求であり、鶴丸という学校としての「信念」のようなものを再度考える必要性を感じさせてくれた。校則が見直されること自体には大賛成であるが、この外枠の校則だけを見直しても意味が無い。例えば、校内では携帯電話の使用禁止という校則を守っていても、校外での使用マナーが悪いようでは本末転倒である。校則を設定して守ることは、手段(How)であって目的(Why)ではない。授業面においても本年度より、定期考査が廃止され単元テストが増えているが、その外枠のシステムの変化に追われ、何も考えずに流れのままに学習しては本当につけて欲しい力はつけられない。単なる外枠の規則やシステムに捕らわれることなく、たとえ規則やシステムが無かったとしても、物事の本質や本質を見抜き行動できる生徒こそ、「真の鶴丸生」たるのではないだろうか。

一学年GO鶴セミナー

七月二十六日(金)、一年生を対象にGO鶴セミナー(先輩に学ぶ職業講話)がありました。今年度も、各学級2名ずつの先輩方から、貴重なお話を聴くことができました。2人の感想文を紹介します。

「本校卒業後、鹿児島銀行で部長職の経験を経て、退職後はコンサル・ネットビジネスで起業、さらに宮崎県児湯郡の食品グループの顧問を務めるなど、様々な活動に尽力しておられる先生に感銘を受けた。特に、人生を考える上で、世の中は簡単に変わるからアンテナを敏感にしておく必要がある、一人一度きりしかない人生は総当たり戦だから、何度でもどこからでもやり直しができ、勝てるまで挑み続けることができていることを教えていただいた。

仕事は、それに伴う責任や労苦のおかげで他者から感謝を得ることができ、それはまた自分の生きがいにつながっていく。若さという大いなる可能性を秘めた我々は、学問はもちろん、慈善活動など様々なことに挑戦し、自分の人生を自分自身で切り開き、素晴らしいものにしていくべきでありたい。」

「海外勤務の経験から、現代の学生や社会人に必要な資質を語ってください、自分もいろいろな未来の可能性を考えることができた。講師の方が繰り返しおっしゃってくださった『共感のベースを探す』という言葉は、人とのコミュニケーションにおいて、欠かせないものだと感じた。日本の企業や人々がますます海外への進出を行っており、世界でも活躍できるグローバル人材の必要性が高まっている今、創造力やコミュニケーション力、英語力をこねからも欠かさず培っていき、常に外へ向かって前進していきたいと思う。」

第四十七回定期演奏会

八月十六日(金)、宝山ホールで定期演奏会が開催され、吹奏楽部、音楽部、音楽選択者の生徒の他、沢山の卒業生がステージに立ちました。今年度は百三十周年特別ステージとして卒業生弦楽アンサンブル(モーツァルト)が演奏されました。



第七十六回体育祭

九月七日(土)、好天の下、体育祭が開催されました。昨年度から入場制限なしとなり、沢山の保護者にご来場いただきました。今年度、新種目を生徒のアンケートで決め、百足競走と玉入れを実施しました。なお、優勝は緑組(二年生)でした。



10・11月行事予定

月	日	曜	行事等	校時	時間制 変更等	学食
10	14	月	スポーツの日			×
10	15	火	1・2学年学年PTA・進路講演会			○
10	16	水		40分		○
10	17	木	後期生徒総会・立会演説会(7限) 清掃カット	45分		○
10	18	金	進研引継会 全統記述(3年) SL(A)			○
10	19	土	全統記述(3年)			×
10	20	日	阪大プレ(駿台) 九大・熊本プレ(北予備:公開)			×
10	21	月	全校朝会⑥ いじめ問題を考えるLHR・SNSチェックシート 1・2年PTA欠席者会 いじめ問題を考える週間(～10/29) 学習時間調査(～10/29) 単体検査(～10/29) SL(B)	5分遅		○
10	22	火				○
10	23	水		45分		○
10	24	木	SC来校(大島先生 13:30～16:30) ロードレース大会前健康相談(14:00～)			○
10	25	金	進研引継会 SL(C) 文化講演会(13:45～15:15)		④⑤⑥ カット	○
10	26	土	東大・京大・一橋大・東科学大プレ(河合) 九大プレ(駿台)			×
10	27	日	東大・京大・一橋大・東科学大プレ(河合) 九大プレ(駿台)			×
10	28	月	表彰式・壮行会② SC来校(保先生 13:30～17:30)	5分遅		○
10	29	火	中掃除 SL(A)	午後 10分遅		○
10	30	水				○
10	31	木	3年生を激励する会(宝山ホール) 3年実力考査時間割発表 SL(B)		火曜 ⑤⑥⑦	×
11	1	金	出前講義 進研引継会 かごしまの教育県民週間(～11/7) SL(C)			○
11	2	土	進研模試(1・2年) 進研マーク(3年)			×
11	3	日	文化の日 進研模試(2年) 進研マーク(3年)			×
11	4	月	振替休日 阪大・神大・北大・東北大プレ(河合)			×
11	5	火			月曜 授業	○
11	6	水				○
11	7	木	3年実力考査(1日目) 進研引継会		3年 考査	○
11	8	金	3年実力考査(2日目) ロードレース大会(1・2年)		3年 考査	×
11	9	土	東大プレ(駿台) 京大プレ(代ゼミ) 名大・九大プレ(河合)			×
11	10	日	第2回実用英語検定(二次) 東大プレ(駿台) 京大プレ(代ゼミ) 名大・九大プレ(河合) 広大プレ(北予備:公開) 熊本プレ(登壇塾:公開)			×
11	11	月	全校朝会⑦ 集団読書(1・2年) 学校安全の日 教育相談①	5分遅 45分		○
11	12	火	教育相談② SL(A) SC来校(保先生 13:30～17:30)	45分		○
11	13	水	教育相談③	45分		○
11	14	木	教育相談④ SC来校(大島先生 13:30～16:30)	午前45分 午後40分		○
11	15	金	1年ストレスマネジメント(6,7限) 中清掃 教育相談⑤ 進研引継会	10分遅 45分		○

↑発行時の予定です。
変更にご注意ください。